

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2022年 2月 10日

事業所名:さんさんスマイル

サービス種類:放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に対して、十分なスペースを確保している。	・はい100% ・どちらともいえない0% ・いいえ0% ・わからない0%	今後も継続して十分なスペースを確保する。
	2 職員の適切な配置	法定基準以上の職員を配置している。また、保育・介護の専門性を有する職員を適切に配置している。	・はい63% ・どちらともいえない12% ・いいえ12% ・わからない12% ・スタッフ紹介に資格情報が記載されており本人も楽しそうに見られていた。	今後も適切な職員配置を行い、更なる人員の拡充に努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	各部屋に絵や写真で視覚による情報伝達を行う等子どもの特性に応じた設備整備を行っている。	・はい75% ・どちらともいえない25% ・いいえ0% ・わからない0%	保護者や関係機関との連携を密に、要望があれば可能な限り、改善を図る。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃の実施、感染症予防対策として、換気・消毒を徹底している。	・はい88% ・どちらともいえない12% ・いいえ 0% ・わからない 0%	引き続き、快適に過ごせる生活空間を提供し感染症予防対策を徹底する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月毎にミーティングを開催し、業務改善を行っている。日々の業務内容はSNSを活用し共有している。		引き続き、ミーティングを定期的で開催し、日々の業務内容を共有する。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は現状活用していないが、他事業所と交流や情報交換は行っている。		必要に応じて検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内外の研修および、資格取得の機会を設けている。		引き続き、職員の資質向上に努め、研修の機会を確保する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントを通じて保護者のニーズを聞き取り、課題を分析したうえで、個別支援計画書の作成を行っている。		今後も継続して計画書作成に努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援と集団支援について具体的な内容を盛り込んだ計画書を作成している。	・はい62% ・どちらともいえない38% ・いいえ 0% ・わからない 0%	今後も継続して計画書作成に努める。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの支援に必要な項目設定を行い、具体的な支援内容を記載している。		今後も継続して計画書作成に努める。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿った適切な支援を提供できるよう、職員間での連携を密に計画内容の周知を行っている。	・はい63% ・どちらともいえない24% ・いいえ0% ・わからない13%	今後も継続して計画に沿った適切な支援を提供できるよう努める。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	児童発達支援管理責任者を中心に活動プログラムを立案している。		今後もチーム全体で活動プログラムの立案を行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は時間が限られている為、児童が見通しを持って過ごせるよう、視覚情報、聴覚情報の表現と伝達を工夫している。休日は遠足や制作活動を行い、長期休暇中では、野外活動を中心に運動・発散・社会性の向上に繋がる支援に努めている。	・はい63% ・どちらともいえない25% ・いいえ0% ・わからない12% 本人が取り組みたい活動に参加している	今後も継続して支援に努める。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	保護者や児童の意見と趣向を取り入れ活動プログラムを工夫している。イベントでは季節を感じられる活動を行っている。		今後も活動プログラムが固定化しないよう、利用者の意見を取り入れながら職員間で新たな活動プログラムを立案し、実施していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に提示やビジネスチャットを用いて支援内容や役割分担について職員間で確認を行っている。		今後も職員間での確認作業を徹底する。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、その日行った支援を振り返り、改善点や気になる点を勤務職員間で話し合い、SNSを用いて記録と出勤していない職員と共有を行っている。		今後も継続して情報共有を徹底する。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	サービス提供実績記録・送迎表日間表)・連絡帳(複写タイプ)等の作成と保管を行い、支援の検証・改善に努めている。		今後も継続して支援に活かせるよう努める。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	児童の発達段階や保護者の意向に応じて計画の見直しを行っている。		今後も継続して見直しを行う。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	要請のあった支援会議に参画し、保護者や関係機関と情報共有を行っている。		今後も支援会議に参画し、情報共有と支援の質の向上に繋げる。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、該当する利用者はいない。		該当する児童の利用が開始した時点で、関係機関と連携した支援を実施する。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、該当する利用者はいない。		該当する児童の利用が開始した時点で、連絡体制の整備を徹底する。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	現在、該当する利用者はいない。		契約時に保護者、相談支援専門員から情報収集を行う。 就学前の支援会議に参画する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
この連携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在、該当する利用者はいない。		該当する児童の利用が開始した時点で、保護者や相談支援専門員を通じて情報提供を行う。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関と連携を図り、研修に参加した際は職員間で情報共有を行っている。		今後も継続して連携を図り、職員間での情報共有を徹底する。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	野外活動時に交流することがある。施設内では月に2～3回ボランティアの方と関わりを持って過ごしている。	・はい64% ・どちらともいえない12% ・いいえ12% ・わからない12%	利用者のニーズを汲み取りながら交流活動を検討・実施する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍でもあり、現状事業所の行事への地域住民の招待は行っていない。	・はい38% ・どちらともいえない10% ・いいえ24% ・わからない38%	前向きに検討する。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担と支援の内容については、契約時や要望があった際、丁寧な対応に努めている。	・はい88% ・どちらともいえない12% ・いいえ0% ・わからない0%	今後も継続して、丁寧な対応に努める。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書作成後、説明を行っている。	・はい38% ・どちらともいえない25% ・いいえ12% ・わからない12%	今後も継続して、丁寧な対応に努める。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者対応時(送迎時等)に意見交換を行っている。	・はい43% ・どちらともいえない43% ・いいえ14% ・わからない0%	定期的に面談を実施していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	常日頃から送迎時や連絡ツールを用いて共通理解の徹底に努めている。	・はい86% ・どちらともいえない14% ・いいえ0% ・わからない0%	今後も継続して共通理解の徹底に努める。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者に寄り添い、適切な対応に努めている。	・はい38% ・どちらともいえない14% ・いいえ38% ・わからない0% ・お送りの際に相談できています。 ・面談を定期的に行ってほしい。	相談しやすい環境を構築する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ禍でもあり、現状保護者会の開催を見合わせている。	・はい25% ・どちらともいえない13% ・いいえ37% ・わからない25%	状況改善次第保護者会を検討する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する体制は整えている。改善点やご要望がある場合、可能な限り保護者の意向に沿えるよう対応している。内容は職員間で共有し、必要に応じて保護者に周知している。	・はい63% ・どちらともいえない37% ・いいえ0% ・わからない0%	今後も迅速かつ適切な対応に努める。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童1人1人の特性を理解し、情報(聴覚・視覚情報)が伝わりやすいよう配慮し、常日頃から気持ちに寄り添い意思の疎通を行っている。	・はい88% ・どちらともいえない10% ・いいえ0% ・わからない12%	保護者とのコミュニケーションの機会を増やせるよう定期的に面談の機会を設ける。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動概要や保護者に周知が必要な情報は、毎月お便りを郵送しお知らせしている。	・はい25% ・どちらともいえない50% ・いいえ0% ・わからない25%	今後も継続して情報の発信に努める。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報書類は鍵付き書庫で厳重に保管し、契約時に個人情報使用同意書を必ず提出して頂いている。	・はい75% ・どちらともいえない12% ・いいえ0% ・わからない12%	今後も継続して実施する。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各対応マニュアルは作成している。	・はい63% ・どちらともいえない25% ・いいえ0% ・わからない12%	保護者へマニュアルの開示ができていない為、周知できるよう努める。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	現状、避難場所の説明しかできていなかった為、避難訓練のスケジュールを決定した。	・はい 50% ・どちらともいえない12% ・いいえ12% ・わからない25% ・利用日に行われているかわからない	定期的に避難訓練を行う。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	児童1人1人に適切な対応がとれるようミーティングの際、支援や対応方法について意見共有を行っている。		虐待防止マニュアルを作成し、職員間の周知を行う。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在該当する児童の利用がない為、放課後等デイサービス計画への記載はしていない。事例が発生した際は児童・職員の安全確保の為声掛け、視覚指示と手や頭を抑える対応をとり(拘束が必要と事業所内で判断した場合)、保護者には詳細説明を行う。		該当する児童の利用が開始した時点で、保護者や関係機関と連携し、慎重に対応していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に保護者から詳細を聞き取り適切な対応を行っている。		今後も保護者、医師の指示に従い適切な対応に努める。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリ・ハットの事例集を作成し職員間で共有しミーティングで意見交換を行っている。		今後も継続して職員間での共有を徹底する。